

令和元年度四国中央市成人式 新成人「誓いのことば」

本日は、成人を迎えた私たちのために、このような盛大な式典を催していただき、誠にありがとうございます。また、お祝いや激励のお言葉を頂きました篠原市長をはじめ、ご来賓の方々、ご出席いただいた皆さまに感謝申し上げます。

私たちは、成人式という人生の節目、そして大人としての門出を迎えることができました。私たちの中には、すでに職業に従事している者や学業に励んでいる者など、立場はさまざまですが、一人ひとりが自分の行動に責任を持ち、社会の一員として常に向上心を持って前進する覚悟しております。

私は今、情報工学の分野で勉学や課外活動に毎日充実した日々を送っています。4月からは、親元を離れ、大学で更なる知識と教養を身に付け、人としても大きく成長できるよう向上心を持って努力し、自分の将来の目標に邁進していく所存です。

令和という時代になり、SNSなどが発展していく中で、これまで以上にさまざまな人とコミュニケーションを図ることができるようになりました。それにより、ライフスタイルや価値観の多様化が進んでいく中で、今を生きる私たちに求められているもの



は、人のさまざまな価値観を認めていく寛容さなのだと考えます。私は、そういった価値観の違いを互いに尊重しあえるような新しいシステム作りに携わっていきます。

最後になりましたが、私たちがこうして集い、無事に成人を迎えることができたのも、たくさんの愛情で育ててくれた家族やお世話になった先生方、幼いころから温かく見守っていただいた地域の皆さま、私たちの周りにいる全ての皆さまのおかげであると、深く感謝申し上げます。この感謝の気持ちと新成人としての決意を心に刻み、これからの人生を歩んでいくことを誓って、新成人代表のあいさつとさせていただきます。

令和2年1月5日

新成人代表 上野 颯真



— 未来への希望を胸に、新しい一歩を —

令和元年度 四国中央市 成人式



新成人がしこちゅ〜ホールに集い
成人の誓いを心に刻む

平成16年の市町村合併以降、初めて4地域合同での開催となった「令和元年度四国中央市成人式」が、1月5日(日)に、しこちゅ〜ホール(市民文化ホール)で行われました。

今年の新成人は、平成11年4月2日から平成12年4月1日生まれの899人(川之江地域356人、伊予三島地域387人、土居地域153人、新宮地域3人)で、そのうち626人が式に参加しました。

凛々しいスーツや羽織袴、晴れやかな振袖に身を包んだ新成人たちは、華やいだ雰囲気の中、久しぶりに顔を合わせる級友との再会を喜び合ったり、記念撮影をしたりして、会場は終始笑顔であふれていました。

式典では、篠原市長や来賓の方々から成人としての心構えや激励の言葉が贈られたほか、川之江高校・三島高校・土居高校吹奏楽部による演奏が式典に花を添えました。また、中学時代の恩師からのビデオメッセージが流れると、学校生活の日々を振り返り、当手を懐かしんでいました。

新成人のみなさんは未来への希望を胸に、晴れやかな表情で大人としての第一歩を踏み出しました。

四国中央市で生まれ育った新成人たちの今後の活躍が期待されます。

